



大田市立病院

〒694-0063 大田市大田町吉永 1428 番地 3

大田市立病院の様々な情報をホームページに掲載しています。

大田市立病院



大田市立病院

<http://www.ohda-hp.ohda.shimane.jp>

大田市立病院新体制!!

西尾祐二 病院事業管理者（院長）

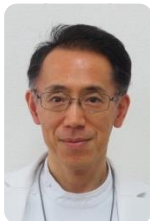
本年度、病院に2名の副院長に就任いただきました。循環器科の医師も1名着任し、2期目に入る総合医育成センターでは新センター長が就任しています。このように病院は今年から、あらたな体制となり、病院理念の実現と地域医療の向上に一層努めて参ります。新病院建設は実施設計に移りますが、平成31年度の開院に向け、着実な歩を進めて参ります。地域にとって病院は生活の要、安全安心のより所です。医療を取り巻く環境に厳しさがあっても、皆で頑張っていきます。引き続き、ご理解とご協力をお願い致します。



杉原正樹 副院長

平成13年に放射線科医として赴任して以来、早いもので15年が経ちました。専門が放射線科なので、患者さんと直接に接する機会は、内科や外科の先生と比べると少ないですが、CTやMRI、核医学検査の画像診断で多くの患者さんの診療に関わっています。また、IVR（インバソナルラジオ）と言って、血管造影やCT、超音波を使って施行する治療では直接に関わることもあります。

これから、西尾院長、榎原副院長と力を合わせて、市立病院を盛り上げ、大田の地域医療に貢献していきたいと思っています。よろしくお願いします。



榎原研 副院長

当院勤務15年を過ぎ、ご恩返しのつもりで大役を拝命しました。当面の目標は日本中を吹き荒れる医療制度改革への対応と新病院建設です。その中で患者さんをはじめとした市民の皆様の満足と、職員の働きやすさや能力の開花を同時に達成すべく「解決と創造」を目標にします。皆様のご協力ご指導をお願いいたします。



山形真吾 大田総合医育成センター長

よくある病気に一通り対応できる医師になることは、一見簡単そうではありますが、実はなかなか難しく、それなりの修練を積まなければならないことなのです。今、ひと頃よりは、総合的な診療能力を身につけたいと志願する研修医が増えています。また、専門領域を究めることを目指す人達にも、臨床医としての一通りの礎をしっかりと固める事が求められています。一通りの水準には高低がありますが、大田の地で若い医師が、高みを目指して学び巣立っていける環境を整えていきたいと思っています。ご協力をお願い申し上げます。



和

誠意

奉仕

- 1) 大田二次医療圏の中核病院として、5疾病5事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2) 病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3) 地域で必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4) 訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5) 医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6) 職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。

～大田市立病院DMAT～

熊本地震において亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、そのご遺族に対しお悔やみを申し上げ、被災者の皆さまへ心からお見舞い申し上げます。

皆さんは災害派遣医療チーム（DMAT）をご存知ですか？平成26年にテレビで「Dr. DMAT」というドラマも放送されましたが、ご覧になられたことはあったでしょうか？

DMATとは「災害急性期（概ね48時間以内）に活動できる機動性をもった専門的な研修・訓練を受けた医療チーム」と定義されており、医師、看護師、業務調整員の3職種より構成されています。

このDMATは平成7年の阪神・淡路大震災を機に災害派遣医療チームの必要性が認識され始め、平成17年に最初の日本DMAT



▲DMAT活動拠点本部

DMATの活動の最大の目的は「防ぎえた災害死を一人でも少なくする」という事であり、それを実行するにあたり時と場面によって様々な任務が生じます。

今回我々は熊本赤十字病院DMAT活動拠点本部より、熊本市内の病院支援という指令を受け、同じ指令を受けた奈良県、和歌山県、岡山県及び島根県浜田医療センターの5部隊で与えられた任務を遂行し無事に帰還する事が出来ました。

隊員養成研修が開催され、全国規模のDMATが誕生しました。

大田市立病院でも平成25年にDMATが誕生し、現在は医師2名、看護師2名、業務調整員3名、計7名の隊員がいます。

さて、平成28年4月16日に発災した熊本地震において、我々大田市立病院DMATは結成以来はじめての災害派遣要請を受け、被災地へ出動し活動して参りました。



▲参集拠点での到着報告



▲支援病院DMA T本部会議

微力でしたが多少なりとも被災地の役に立てたのではないかと思います。

この度の熊本地震や、まだ記憶に新しい東日本大震災の様に、この日本ではいつどこでこのような災害が起こっても不思議ではなく、日本DMA Tでは東日本大震災規模の災害が予想されている南海トラフ地震などの災害に備え、技能向上を目指し毎年研修・訓練を重ねております。まだまだ経験も浅く、未熟な我々ですが大田市立病院にもDMA Tがいるという事をお見知りおきください。

業務調整員 西平守人



◀ ▲自衛隊と共同で行う支援病院からの患者搬送



【大田市立病院DMA T隊員】

医師	福田 正子	松木 真吾	
看護師	澁谷 みつえ	村田 陽子	
業務調整員	中祖 伸宏 (事務職員)	西平 守人 (診療放射線技師)	
	飯田 博幸 (事務職員)		

看護の日

5月12日は「看護の日」。看護の心、助け合いの心は今後の社会を支えていくために大切です。「看護の日」はこうした心の認知・普及のため、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ制定されました。

当院でも「看護の日」を通じて「看護の心」を大切にしようと活動が続けており、今年も5月13日に「看護の日」のイベントを行いました。看護師が体重や血圧測定結果をもとに、体調管理の話をしたり、アロママッサージの提供や、訪問看護スタッフや、新人看護師のパネル紹介、たんぽぽ保育所の園児によるかわいい歌の発表や管理栄養士による栄養相談などさまざまなイベントを開催しました。

イベントには、外来診療を終えた患者さんが多く立ち寄ってくださり、「看護師とゆっくりお話ができて良かった、ハンドマッサージが気持ちよかった。」などと言っていました。私たちも気軽に看護に触れていただける時間を提供でき、多くの方に喜んでいただけたことを嬉しく思います。このイベントを機に「看護の日」が更に社会へ普及することを願っています。

看護師 益田芳恵



外来診療一覧

(●初めての受診が可能 ○予約の方のみ)

平成28年7月1日現在

診療科		月	火	水	木	金
一般外来	内科	●	●	●	●	●
	神経内科	●		●隔週		
	消化器科	●	●		●	
	循環器科		●		●	●2.4.5
	メンタルヘルス科				○	
	小児科	●	●	●	●	●
	外科	●		●		●
	呼吸器外科					●
	心臓血管外科			●		
	整形外科	●※1		●※1		●※1
	脳神経外科			●	●	●
	皮膚科	●※2	●	●		●
	泌尿器科	●	●	●	●	●
	産婦人科	●	●	●	●	●
	放射線科		●		●	
	ペインクリニック	●		●	●	●
	眼科	●※3				●※3
	耳鼻咽喉科	●※4	●		●隔週	
	総合診療科		●			
専門外来	リウマチ外来		○		○	
	腎臓内科		●			
	血液・腫瘍内科			○	○	
	ペースメーカー外来					○※7
	小児神経外来				○	
	小児心臓外来		○			
	乳児健診	○				
	小児予防接種					○
	女性泌尿器科外来				●※5	
	緩和ケア				○※6	
	乳がん検診				○	

【受付時間】 8:30~11:00 (予約の方はこれ以外の時間になることがあります)

※1 予約券をお持ちの方は8:30~15:30 初診の受付を制限する場合があります

※2 隔週で午後の診察(13:15~15:00)もあります

※3 初めて受診される方は8:30~10:30

※4 診療は第1・3のみとなります

※5 第1・3・5木曜日 8:30~12:00 予約外の受付は11:00まで

※6 第3木曜日 ※7 第2金曜日 14:00~16:00

～編集後記～

今号で熊本に災害派遣に行った DMAT の記事がありました。

これは英語の正式な名前を簡単にしたものなのですが、医療用語にはたくさんあります。身近なものだと「BP」だと血圧だったり、画像診断でも「BMD」は骨密度の意味になります。皆さんは何気なく使っているけど意味を理解していない単語って多くないですか？

略称は本来の正式な名前を知っていると使うことができませんが、なにより便利です。意味がわかると楽しいと思いますので皆さんも調べてみてはどうでしょうか。これからも略称が出てくるとは思いますが、その時はわかりやすくお伝えしていきたいです。(担当K.O)

発行

大田市立病院 広報委員会

〒694-0063

島根県大田市大田町吉永 1428-3

TEL 0854-82-0330

FAX 0854-84-7749